

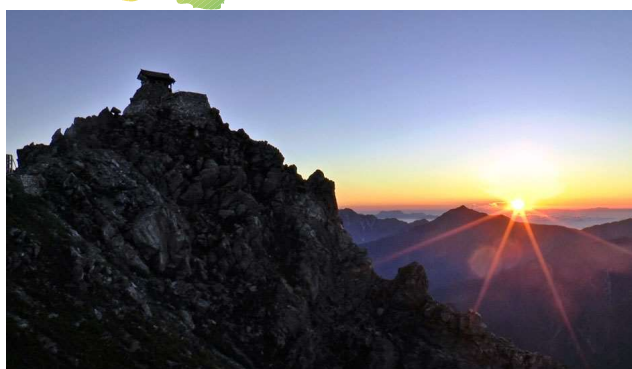
# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第102号(201801)

発行 竹田 幸男



第8回ビデオ作品発表会

谷さん「立山ご来光登山」より

## 例会の窓

### ■平成29年12月例会

日時：12月13日(水) 13:30～

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 妹尾 竹田 谷

中村地区委員

欠席者：2名(50音順・敬称略)

### 例会次第

#### 1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想 新井さん

(2) 今年の第2回撮影会の結果

・東福寺撮影会は紅葉の中、12名が参加して盛況だった。

(3) 第11回寝屋川映像フェスティバル

- ・30年年5月13日(日)10分以内の作品。
- ・今回からは著作権規制 今年中に出品作完成を。1月提出。  
各自の予定作の現状は？

(4) プレミア研究会

- ・11/12のふれあいフェスタでメンバーが集まったので第4回を実施した。  
今後はどうするか。

(5) 文化連盟理事会の報告(新井理事)(略)

(6) 会報100号を発行した。

- ・100号入りのCDは、初期の頃のもの字体がそろわないことを了承。  
次回発行する。

(7) 11/12(日)ふれあいフェスタの結果

(8) 今年の映像協会忘年会

- ・12月17日(日)9:30合同例会後、11:30がんこへ移動。
- ・参加者 竹田さん、新井さん、佐伯さん、谷さん。

(9) 1月例会/新年昼食会

- ・1月10日11:30 喜多八本店で昼食後例会会場へ。  
竹田さん、新井さん、田淵さん、妹尾さん、中村さん、佐伯さん、谷さん  
(7名で予約済み。)

### 3. 映写・研究発表

#### 会員持参作品の映写

(1) 小笠原さん 「明石海峡大橋」 9分45秒

- ・教材としては良い作品、データが多すぎて理解が難しいのでデータを減らして分散してはどうか。

(2) 新井さん 「はすの成長記録」 9分29秒

- ・前回の作品を再編集された。ひとつの蓮の花の開花から、4日後、花が枯れてしまうまでを夜中も延々と撮影され、短時間で映写するように編集された努力を賞う。

(3) 谷さん 「金剛山へ行こう! 登拝回数100回を振り返る」 9分

- ・タイトルは大切なので再度よく考えられては。
- ・出だしの表彰式のところから次へ入る場面にトランジションをいれて、表彰式があったことを目立つように工夫されてはどうか。
- ・小鳥のさえずりの所はBGMを小さくして、鳴き声が聞きやすいように。

### 4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等(略)





## 懐かしのテレビドラマを録画してⅡ

新井 正直

前回のローハイドに続き、ほぼ同じ頃に、アメリカで制作・放映されたテレビドラマに、コンバット(戦争)、ベンケーシ(医師)、逃亡者(犯罪者)があり、家庭のテレビで観られ、感動して楽しんだドラマが、ケーブルテレビで最近放映され録画した。コンバットが今回の話である。このドラマは、第二次世界大戦でフランス・ノルマンディーに上陸した前後を想定して、戦争を背景として活躍する分隊の人間ドラマで、他のベンケーシや逃亡者も、医療分野や、犯罪者にされ、逃亡を背景とし、活動する人のドラマで、感動したので記憶に残ったと思うのである。

このドラマは、軍隊なので、歩兵連隊・大隊・中隊・小隊・分隊があり、その分隊の隊長サンダース軍曹を中心として、戦争の事ではなく、戦争を背景として活躍するドラマで、分隊のメンバーだけでなく、レジスタンスの方たちやドイツ兵も、アメリカ兵と大差ない人であることを、描いてるのである。

このドラマも、ローハイドと同じで、各話ごとに個性の強いサンダース鬼軍曹が、問題を解決する、一話完結型の話である。

60年代に観て、記憶にあるのは、戦闘画面で、歩兵が使用する装備品・車輛は、本物なのか疑問を持ったが、調べてみると、殆ど実物である。

Rick Jason(ヘンリー少尉役) 声(納谷悟朗)

Pierte Jaibert(ケーリー上等兵役) 声(山田康雄)

Jack Hogan(カービー二等兵役) 声(羽佐間道夫)

Dick Poabody(リトルジョン上等兵役) 声(塩見竜介)

Staven Rogers(ウォルトン衛生兵役) 声(河内博)

Conlan Carter(カーター衛生兵役) 声(嶋俊介)

その他役名 ブラッドック二等兵、ビリー二等兵、ブロックマイヤー二等兵  
マッコー上等兵

ゲストスター 話の内容で、出演させている。

録画した作品32話をすべて観て、最後のドラマのストーリーを作成する際は、会話を多く入れ、迫力のあるものにするため、即メモを取りながら記事を書いたものである。

＊＊録画した作品シーズン1～32話のテーマ一覧表＊＊

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 01. あるドイツ将校      | 17. ハダシの二等兵   |
| 02. 三人の新入兵       | 18. 撃てない兵隊    |
| 03. わが心との戦い      | 19. 戦火のかけに    |
| 04. 爆発一秒前        | 20. オフリミット    |
| 05. 勇者の機関銃       | 21. 非常の時      |
| 06. 交戦中行方不明      | 22. 洞窟の一人     |
| 07. 脱出の道なし       | 23. 生きる       |
| 08. 戦場の名手        | 24. ある村 その生と死 |
| 09. 一人だけ帰った      | 25. 静かなる闘士    |
| 10. 二つの生命        | 26. バラの勲章     |
| 11. ノルマンディーに上陸せよ | 27. 敵前逃亡罪     |
| 12. ニセ大佐がんばる     | 28. 姿なき義勇兵    |
| 13. 父と子          | 29. 赤ん坊兵隊達    |
| 14. 英雄の条件        | 30. 逃げた奴ら     |
| 15. 1枚のレコード      | 31. 生きて帰れない   |
| 16. 小さな義勇兵       | 32. 残されたもの    |

### #32「残されたもの」 あらすじ

最初の映像は、激しい交戦のシーンで、タイトルの「COMBAT」が表示されて始まり、フランスのある処で、弾丸が破裂する中で、ヘンリー少尉とサンダース軍曹たちが銃を乱射する画面があり、ケーリー上等兵もドイツ兵士と出会い射殺後、手榴弾で建物の二階から機関銃を撃ってるドイツ兵士たちを遣っ付け、次にタイト

ルと関係する映像で、一階にも手榴弾を投げたが、其処には地元の住民が居て殺したか、確認に行く処で、爆発するアニメーションと、COMBATが表示され、同じアニメーションの間に、Rick Jasonと Vic Morrow の紹介映像が映された吹替版である。

現場で生死を確認すると、住民は、やはり死んでいて、フランス系の移民の子であるケーリーは、ショックで途方にくれ、ただ茫然として立ち尽くしていたのである。

一方対戦中のサンダースたちも交戦が一段落し、ケーリーが居ない事に気が付き全員で捜索して、ケーリーの銃を見つけ、サンダースが、室内を確認して、フランス人を発見したが死んでおり、落胆しているケーリーを見つけ、如何したと尋ねたら、手榴弾で殺したと言うので、サンダースはこんな処にいるのが悪い、この様なケースも多々あると言って慰めたが、聞く耳をもたず居なく、同じ民族を殺害した、と家族の事を考えていたのである。

サンダースは、ケーリーに、その様な事もある、気が落ち着いたら来いよと言って立ち去り、ケーリーも仲間の所に戻るが、どうも仲間と溶け合わないのである。

ケーリーは、死亡したフランス人が、埋葬される墓地にいて、村の人たちに死んだ人が村の人かと聞くが、ハッキリ答えず、船に住んでいたと言ったので、ケーリーは、その場から去るのである。

仲間たちも、ケーリーが苦しんでいるので、サンダースに歩哨を交代してやると言ったが、サンダースは、ここでは、ケーリーが、自分で切り抜けなければならないと言ったのである。

ヘンリーがサンダースに、ケーリーの歩哨は、大丈夫かと聞いたが、サンダースは、大丈夫だと言いつつ切ったのである。

ケーリーは、死んだフランス人が、船に住んでいたことを聞いて、其方に向い船内で、家族の写真を見て、より切なくなり、アルコールを口にし、オルゴールを見つけて、眺めているとき、サンダースが、入って来て、一人きりかと尋ね、ケーリーが、持っているアルコールの瓶を取り、口に含んで、サンダースが、俺の命令で部下が死んだ時、俺もそのな気持ちを経験した、その責任を個人で償うとしたら無理だ、どうしても気持ちが収まらんなら、このアルコールで洗い流すんだと言って、ケーリーに瓶を渡した時、階段を降りてくる音がして緊張するが、少女が降りて来たのである。

ケーリーが、名前は、ここの子かと尋ねると、怯えながら、ミシュリーヌと言ったので、サンダースが、ここの子だと言い、老人から聞いたと付け加えたのであ

る。少女が怖がっているのです、ドイツ兵じゃないアメリカ兵だよと言い、君達を助けに来たんだと言うと、顔を微笑ませて、パパを見たかと尋ねてきて、ママは眠っており起こしても起きないと言うと、サンダースがケーリーを呼びすべてを話して遣るんだと言われ、ケーリーが、父親を殺したと言うのかと問いただすと、サンダースは、ただ死んだと話すんだと助言するのである。

ケーリーがパパもママも死んだよと言うと、ノーノーと言うので、練返し死んだと言うと、ママは眠っているだけ、パパは、何故死んだのと聞いてきたので、ケーリーは、叔父ちゃんも知らないと言っ嘘を言って、ミシュリーヌを抱き抱えたのである。

それから、ミシュリーヌとパパが眠る墓地に行き、花をお供えして、お祈りをするふたりを見て、ケーリーにミシュリーヌが、懐いているのを同僚たちが見ていたのである。

その場を立ち去る途中で、ヘンリーとサンダースと地元の老人に会い、ミシュリーヌを預かって貰う話になったのである。

その場から、ケーリーとミシュリーヌが、立ち去るのを見てヘンリーが何かしようとしたので、サンダースが止めるが、ヘンリーは、ケーリーの歩哨の件を遣らなかつたことを言い、この件も反抗的な態度を取るなら、軍法会議に回すと、サンダースに言い放つのである。

ケーリーとミシュリーヌは、河べりに来て模型のヨットで遊ぶも、無関心で、次々と色々な遊びをするが、乗ってこないで、手製のシーソーを作り、二人で遊ぶが、これもあまり関心がないで、ミシュリーヌがシーソーから突然降りたのでケーリーがひっくり返り、尻もちをついたので、ミシュリーヌが、痛かったと言って覆いかぶさっているのを、サンダースは、見て去って行くが、二人は大笑いし、今度は、本物の船に乗り舟遊びをしている処に、サンダースと地元の老人がやってきて、直ぐに出発すると連絡にきて、ミシュリーヌは、地元の老人につれて行かれるのである。

サンダースの分隊は、全員集合したが、ドイツ軍が来て戦うのに、建物がある方が有利なので、ここで立てこもり待機して、援軍を待つことになるのである。

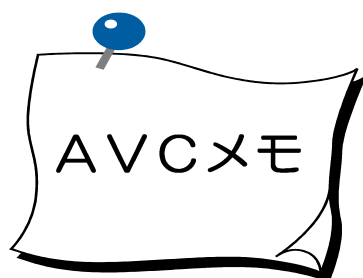
この地域に留まったので、ケーリーは、サンダースにあの子を迎えに行くと言いに来たが、サンダースは、あの子とは、誰だ、何も知らないと言い、俺は分隊のメンバー以外は誰も知らない、俺の言うことを聞け、同じ分隊にいる限り忘れることは出来ないだろう。だが戦争が終わったら、分隊も偵察隊もみんな無くなる、其々が自分の生活に戻り、お前に起った事もみんな忘れられるんだ。もしあの子に何

かがあっても、お前は分隊にあるものを見て、することをするだけだ。何時までも、自分の責任として悩んでいたら、自分のためにならないと言うのである。

援軍が来て、激戦が始まり、敵の装甲車が住民を打ちまくるのを観たサンダースは、ケーリーに敵の装甲車を俺とやるんだと言って、装甲車に上がり、遣っ付け、援軍が来たので、総攻撃し、敵を遣っ付けたのである。

サンダースが、あの子を抱いて、ケーリーの処に来て、ミシュリーヌと抱き合い最後の、お別れをし、老人にミシュリーヌの事をお願いし、ミシュリーヌと手を振り合い、出発して行くのである。

録画したドラマ以外から得た情報は、インターネットから入手したものである。



## フォール クリエイターズ アップデート

竹田 幸男

会報99号でウィンドウズ10の「クリエイターズ アップデート」について書きましたが、表題のものは、その次の最新バージョンで、バージョンナンバーは1709になります。前回の「クリエイターズ アップデート」でも、当時いろいろの不具合が出ましたが、その後、徐々に改善されました。

フォール クリエイターズ アップデートも、11月に恐る恐るアップデートしてみましたら、見事に失敗しました。アップデートの途中でインストールが止まってしまう、びくとも動かなくなり、どうしようもありません。泣く泣くCドライブを真っ白にして、ウィンドウズのクリーンインストールと、それまで営々とインストールしてきた数多くのアプリを再インストールする羽目になり、かなり手間取ってしまいました。このように手間取ったのは、システムのバックアップをとっていなかったもので、これは大失敗でした。

不幸中の幸いは、自分で作ったデータなどは、すべてCドライブには置かない設定にしていた（Dドライブに入れていた・・・マイドキュメントは使わない）ことや、ダウンロードしたデータはDドライブにバックアップしていたこと、などのために貴重なデータ消失の難を免れました。

そういう恐怖の経験があったので、年末からこの方、しきりにアップデートの呼びかけが（マイクロソフトから）あり、「今すぐこの作業をやめて再起動を（すなわち、再起動イコールアップデートのスタート）」などの呼びかけが再々来るようになりました。「今やらない場合は、いつやるか」と迫られ、返事は「明日」、明

日になればまた「明日」・・・と、引き延ばしを図っていました。

いつまでも引き延ばすわけには行くまいと、覚悟を決め、前回のインストール途中停止の恐怖体験があり、まずはシステムのバックアップをUSBメモリーと外付けハードディスクに延々と時間をかけて済ませた後、呼びかけに応じて、こわごわアップデートを開始すると、1時間ほどかけて、あっさりとアップデートは終わり、済んでみると何事も無くシステムは立ち上がり、前回のクリエイターズ アップデートで生じた、いろいろのトラブル、たとえば、プリンタが動作しなくなった、とか、Wi-Fiの動作がおかしくなった、などという問題も起こらず、わずかの間にいろいろのトラブルや、デバイスドライバとの相性問題に対する対策を整えて、自信を持って、しつこくアップデートを呼びかけていたんだと思いました。時を同じくしてインテルのCPUの脆弱性が問題になったので、それに対する対策もあって、余計にしつこく呼びかけがあったのか、とも勘ぐっているのですが。

ともあれ、今回の「フォール クリエイターズ アップデート」は、ウィンドウズ10になってからの、何回かの、間欠的なアップデートの中では、かなり大幅な機能アップがあるようで、これから何が出来るのか、楽しみながら内容を確認したいと思っています。 ■